

山村の歴史講座が開催される（春野町）

2月25日、春野町の歴史講座が開催された。春野の歴史を学びあって、暮らしの核となるものを見出し、ていこうという趣旨で、定期的に講座を開催していくことになった（主催 NPO法人楽舎）。

春野町は、浜松市の北部にある中山間地。浜松市と合併して10年になる。人口は4400人。

明治期には製紙工場（王子製紙）、戦後は林業やお茶で繁栄したものの、産業の衰退とともに、人口は減少しつづけている。10年で2割以上、減り続けている。1950年台の3分の1である。住民の多くは高齢者である。

山間部は豊かな歴史がある。400年間つづく伝統の祭「勝坂神楽」なども継承されている。

講座の参加者は20名。講師は、郷土史家の木下恒雄さん（84歳）。20冊を超える郷土史の著作がある。現在も500枚を超える原稿を執筆中。参加者一人ひとりに著書を贈呈した。

山村の交流の歴史、金原明善の行った治山治水事業について語り合った。今後も継続して開催していく予定。

浜松市北部地区特派員 池谷 啓



[歴史講座01](#)



[山村の歴史講座02](#)